

(様式1)

奈良県中央善意銀行頭取 柿本善也殿

奈良県中央善意銀行助成金申請書

| | | | | | |
|---------|--|-----|--------------|---------|------------------|
| グループ名 | 特定非営利活動法人 ほっとねっと | | | | 印 |
| 住 所 | 〒630-8301 奈良市高畑町1202-7 | | | | TEL0742-94-6800 |
| 代表者氏名 | 伊藤 満 | | | | 印 |
| 住 所 | 〒633-0067 桜井市大福171-2 | | | | TEL090-2356-4748 |
| 連絡責任者名 | 寺前 美加 | | | | TEL090-8233-9172 |
| 団体分類 | 1任意団体 2NPO 3社会福祉法人 4財団法人 5その他 | | | | |
| 設立年月日 | 2002年3月30日 | 会員数 | 個人67 団体10 | 活動年数 7年 | |
| 申込団体の概要 | 活動状況 「人権がさまたげられることのない社会づくり」の観点から、主に6つの事業を行っている。また、人権のまちづくりには、環境保全など持続可能な社会づくりが欠かせないとの観点から2つの事業を行っている。 1. ニート、引きこもりなど困難を抱えた若者、35歳以上無業者、障害者支援事業(居場所、就労支援) 2. 冒険遊び場「ひーとびーとの森」運営 3. 水平社博物館とその周辺地のガイド 4. 情報弱者へのIT推進(ネット構築、パソコン教室) 5. ワークショップ形式の人権研修 6. 電話・メール・面接による人権相談 7. 環境・平和問題啓発イベント「アースデイ」の開催 8. 循環型社会構築のためのヒマワリ、菜種栽培 | | | | |
| | 本年度の予算(収入) 5105000 円 (支出) 5073000 円 ①住民や地域の社会資源等と協働して事業を展開し地域に福祉的效果等を還元し貢献する事業 ②福祉分野等において特にサービスや要援護者への支援が十分に整備されていない分野を対象とする事業 ③要援護者への理解を深めるため地域社会に啓発を促す事業 | | | | |
| | 事業名 知的障害・精神障害・精神疾患のある人への就労支援事業 | | | | |
| | 助成申請金額 169000円 1. 対象者 障害者手帳を持つ知的障害者、精神障害者と被虐待・いじめなどが原因の精神疾患の人 2. 実施場所 当NPO事務所多目的スペース(奈良市高畑町1202-7)、磯城郡田原本町法貴寺の休耕田 3. 実施時期 2008年8月～2008年3月 4. 目的 健全者でさえ就業に困難をきたしている急激な不況の中、障害や病気ゆえの生活上の不自由に加え、経済的な自立のめどもたちにくいという、将来的に2重3重の不安を抱える知的・精神障害者や、被虐待など特別な事情により精神を病んだ人たちに興味のある分野で一定のスキルを身につけてもらい今ある就業への意欲を実際に社会参加によって生かせるようにすることで結果的に当事者の自立と社会全体の「人権のまちづくり」が少しでも進むことに寄与する。 | | | | |

知的障害・精神障害・精神疾患のある人の就労支援のため、下記の3つの実習を開催する。

10月～2月 隔週1回 計10回

どこに行ってもニーズに対応できる一定の実践力を身につけられるように

早打ち練習・インターネット活用・マイクロソフトオフィスソフト活用（ワード、エクセル、パワーポイント）
画像処理のフォトショップ活用の練習。

実習時間は1回につき1時間半～3時間程度で当事者のニーズに対応する。

8月～3月 毎月1回 計8回

種まきから収穫・観賞に向けた手入れ法などをその時期に応じて指導してもらい、食や園芸などに関係する事業への就業を視野に入れた関わりが持てるような力を身につけてもらう。

8月～3月 毎月1回 計8回

・使用済み封筒または印刷済み未使用封筒をもらい、再利用できるように加工して環境問題などに意識の高い団体・企業に使ってもらう。

・イベントなどで使用して残ったキャンドルをもらい、再利用できるように加工して別のイベントや家庭などでつかってもらう。

※就業に意欲のある当事者に上記3つの実習のうち、興味のあるものに参加してもらう。原則としては1人につき1種類の実習に全回参加が条件だが、本人の状況・希望などを考慮して複数実習の参加や部分参加も認める場合あり。

・就業できない理由が長らく続くのは障害・病気などの個別の理由や不況などに加え、何もしていない時期が長い人は採用されない→キャリアが積めない、という悪循環に陥っていることが大きい。この実習である程度のスキルを身につけて、就業ではなくボランティアなどでもよいので一定期間同じ活動をしていた旨を履歴書に書けるように小さなキャリアを積み重ねてもらうことで本格就業への入り口づくりを進めることができるようになる。

・安定的雇用が崩壊しつつある、今ある主要産業への就業をめざすのとは別に、将来的に有望であり、環境問題などの解決にも役立つような社会性のある分野として農作物栽培やリサイクル関連事業に進むきっかけづくりとなることで、将来への希望と自信を見出してもらえるようになる。

・パソコン実習にしてもただ単にそのソフトを使いこなすだけではなく、電話やインターネットなどでのやり取りがあって初めて仕事が成り立つものである。そのあたりのことも同時に指導することでコミュニケーション力も身につけてもらえる。

また、作物栽培では土と触れることで病んだ人にも生きる活力を取り戻してもらえることを期待する。リサイクル品制作によって、環境問題などへの関心を高めてもらい、就業とは限らなくても何か新しい取り組みを始めてもらうきっかけとなることを期待する。

添付書類

- ☐会則・規約等 ☐役員名簿、会員名簿 ☐会報・チラシ等
☐前年度の事業報告、決算書 ☐当年度の事業計画、予算書
☐その他()

申請事業収支予算書

<収入>

| 区分 | 収入予定額 | 内訳 |
|-------|--------|----|
| 自己資金 | 49600 | |
| 参加費収入 | 0 | |
| 助成金 | 169000 | |
| 寄附金 | 100000 | |
| | | |
| | | |
| 合計 | 318600 | |

<支出> *科目ごとに分類し、単価×数量×回数=〇〇〇円のように記入すること

| 区分 | 支出予定額 | 内訳 |
|-------|--------|---|
| 諸謝金 | 130000 | パソコン指導員5000円×1人×10回 園芸指導員5000円×1人×8回 リサイクル品制作指導員5000円×1人×8回 |
| 旅費交通費 | 132000 | 会議交通費2000円×3人×6回 スタッフ交通費2000円×2人×24回 |
| 通信運搬費 | 12800 | チラシ、案内文送料 80円×80箇所×2回 |
| 保険代 | 4800 | 600円×8回 |
| 消耗品費 | 30000 | パソコン実習材料10000円 園芸実習材料10000円 リサイクル品制作実習材料10000円 |
| 賃借料 | | |
| 会議費 | 9000 | 500円×3人×6回 |
| | | |
| 合計 | 318600 | |

請 求 書

一金 169.000 円也

但し、平成21年度 奈良県中央善意銀行助成金 として

上記のとおり請求します。

平成 21 年 6 月 25 日

登録法人 奈良県社会福祉協議会

会長 荒井 正 吾 様

住所 奈良市高畑町1202-7

団体名 特定非営利活動法人ほっとねと

代表者 理事長 伊藤 満 

| | |
|-------------------------------|-------------|
| 銀 行 名 | 南都銀行 |
| 支 店 名 | 県庁出張所 |
| ①普通・当座預金 | 口座番号： 47287 |
| フリガナ：トクエイエリカブツホウジンホネトシヤウトウシユレ | |
| 口座名義： | |
| 特定非営利活動法人ほっとねと理事長 伊藤 満 | |

上記の口座にお振り込み下さい

団体名 特定非営利活動法人 ほっとねと

代表者名 理事長 伊藤 満 